

チーム名	チーム🌀べっぷ	大学・学部	立命館アジア太平洋大学 国際経営/アジア太平洋学部	大分ステージ
プラン名称	おもてなし大学 in Beppu / Omotenashi University Beppu			
リーダー名	ソン・テナム	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 () ①若者を惹き付ける「観光まちづくり」 (○) ②訪日外国人を惹き付ける「観光まちづくり」	事務局記入欄
指導教職員名	上原優子			
メンバー名	宋太男(ソンテナム) / 池上沙綾 / 長友真次			

企画概要

おもてなし大学 in Beppu

事業① 学生の就職・企業支援

宿泊業に関する留学生の就職・企業支援し、県内の民泊サービスやゲストハウス運営において、外国人人材を起用する。

実現例: インターンシッププログラム

・別府のゲストハウスや民泊と協力し、留学生にインターンシップとして運営や接客を体験させ、別府での宿泊業を学んでもらう。

・「おおいた観光PR特派員」として、各言語の観光用パンフレットやウェブサイトの作成を行ってもらう。また、学生自身が自国で別府のPR活動を行う。



協力
確認
済



実現
例

事業② APU卒業生との連携

世界で活躍するAPUの卒業生の中でも、有名なYouTuberやSNSにおいて人気のあるモデルなどと提携し、海外に大分の魅力を発信する。

実現例: 卒業生との協力

WORLD YOUTUBER SCHOOL社長のシェンさんと提携し、動画配信やライブ映像を広告に活用。



協力
確認
済



実現
例

ことばハウスとは?

立命館アジア太平洋大学(APU)の学生主体で別府駅前通りで多国籍カフェを運営しています。「ことばとごはんをつながりの家」をモットーに、おおいた県民・産・官の方々と留学生を含めた地元大学生の交流促進を図って事業を取組んでいます。



現状と問題認識



留学生は日本の文化に直接触れるため、留学という進路を選び、その中でも大分県を選択して訪日している。しかし、私達学生の暮らしの中で、大分県での地元民や県内企業と関わるきっかけが弱い。そのため、大学での学びを活用でき、学生が活躍する環境がうまく整っていないのでは？



提案・新規性

観光まちづくりにおける留学生の活動拠点として「おもてなし大学 in Beppu」を設立し、効果の高いインバウンド対策を行っていく。

事業① 未来のおおいた人育成

インターンシップとして、留学生に民泊経営や、日本のおもてなし接客を学び、体験してもらう。また、留学生観光PR特派員として、各出身国へPR活動を行う。

外国人目線でのおおいた観光PR	民泊事業の経営や観光戦略の学び
多言語によるWebページ案内・パンフの作成	日本のおもてなし文化を継承

事業② 効果:「リアルさ・身近さ」をウリに

ネット動画配信・ライブ動画配信による観光PR 10億人
旅行前に4割以上の方が観光動画を視聴している



SNSの有効活用 f 20億人 i 6億人 t 3億2800人

#ハッシュタグでキーワードを簡単にシェア、繋がる
リンクを張ることで、サイトへの誘導が可能

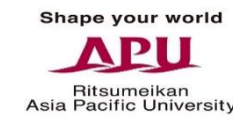
留学生や卒業生が行う理由

情報発信力を持つ現役大学生や、世界中で活躍する卒業生が、外国人目線でおおいたの観光をPRするため、よりリアルに、身近に感じることができる。

解決策

「おもてなし大学」を設立

別府の大きな資源である留学生、世界で活躍する卒業生、そして地域の方々と協力し、留学生が別府ならではのホスピタリティの学びや県内就職・起業を支援。新たなおおいた人を育成することで、よりインバウンド効果のあるまちづくり・人づくりを行うことができる。



大学生による起業



大学とおおいた県の社会連携

提案プラン効果

①インバウンド効果

- 卒業生による動画配信やSNSにより
- ・雑誌やテレビよりリアルに、芸能人より身近に感じられる
- ・ライブ配信による臨場感
- ・世界中から視聴・チェックできる
- ・情報共有が簡単で、広まりやすい
- ・言語が理解できなくても伝わる

外国人の目線でのインバウンド対策
留学生出身国に直接アプローチ



②まちづくり効果

- ・インターンシップによる留学生の就活・就職支援
→接客マナーやおもてなし文化の継承
- ・県内就職や県内企業就職の増加
→県内定着率UP! 未来の大分県民の育成
- ・民泊事業の活性により、別府の空き家問題へも効果的



観光課の意見

別府市の魅力をより良く発信できる
地元大学卒業生との連携。

別府市の為にも肯定的に検討したい!